

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	ベストプラクティス小委員会	主 査 名：小玉祐一郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：仙田 満
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	持続可能な建築を目標にした多様な試みが実践・展開されている。そのことによって、持続可能な建築の理念に関して、多様な解釈と定義がされていることも明らかになってきた。地球環境負荷低減という目標達成においても、多様な価値観に基づく設計コンセプトがあり、様々な計画のプロセスがあることが明らかになってきた。本小委員会では、持続可能な建築の事例の収集・分析を行い、設計者の意図を明らかにし、またどのような評価体系によって評価されているかを調査して、今後の持続可能な建築の理念の確立に資することを目的とする。	
委員構成 (委員名 (所属))	小玉 祐一郎(神戸芸術工科大学:主査) 太田 浩史(デザイン・ヌーブ:幹事) 浅野 耕一(秋田県立大学) 磯 達雄(フリックスタジオ) 伊藤 昭(日建設計) 榎原 徹(東京大学) 清家 剛(東京大学) 曾我部 昌史(東京芸術大学) 田中 大介(鹿島) 中村 勉(中村勉総合計画事務所) 難波 和彦(東京大学) 野沢 正光(野沢正光建築工房) 松本 淳(慶應義塾大学) 村田 涼(エステック計画研究所) 森 義之(アラップ・ジャパン)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	85,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	4/12・10名、5/31・8名、6/28・8名、7/20・7名、8/3・6名、9/9・10名、12/6・9名、1/17・8名、2/15・9名、3/8・6名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>(1) 建築見学会開催「ポーラ美術館」(設計：日建設計) 2004年10月18日(月)、サステイナブル建築の視察を目的として、ポーラ美術館の見学会を開催。当日は設計者にも同行頂き、詳細に渡る建物見学、活発な意見交換が行われた。</p> <p>(2) SD2004 特集「サステイナブルな住宅はデザイン可能か」企画・監修・執筆 2004年12月発行の書籍「SD2004」の特集に小委員会メンバーが参画。住宅を対象に事例収集を行うと共に、サステイナブル・デザインの概念整理を行った。</p> <p>(3) 展覧会「これまでの10年 これからの10年展」パネル作成、事例収集 2005年3月末開催の同展覧会において小委員会のパネルを作成。また、全体パネルの事例収集に協力した。</p> <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>2003年2月に「G+A」誌にまとめたベストプラクティス事例とその評価の枠組みに続き、「SD2004」誌では住宅を対象に事例収集と評価概念の整理・検証を行った。 また、設計者同行の下で建物の見学会を行った。サステイナブル・デザインの実例を詳細に視察することで、実施建物の設計コンセプトや計画プロセスに関して大きな示唆を得ることができた。</p>
その他評価すべき事項	